

GBN 代表・大西 2019 年ウガンダ現地視察メモ Ntungamo 公立小学校環境保護クラブの視察



•学校のジュリアス教頭先生より環境クラブの生徒たちの助けを借りて校内に木を植えたと説明があり、SORAK スタッフ、GBN の大西、および学校のスタッフは、植えられた木と学校の庭を見に、学校の周りを視察した。



•学校の校長先生は、環境保護クラブには訪問者向けの発表と詩があると述べ、生徒たちのところに行った。SORAK のスタッフと GBN の大西は、学校全体の前で自己紹介をし、SORAK 代表は、グローバルブリッジネットワークについて紹介した。



- ・小学校 2 年生が環境保護に関する詩を発表した
- ・小学校 6 年生もプレゼンテーションを行い、環境を保護するために女兒と男児を支援してくれた SORAK に感謝した。
- ・彼らはまた、私たち全員が環境をより良い場所にするために一生懸命働くことについて歌を歌った。
- ・彼らはまた、両親がさまざまな障害の少女、無声の女兒の教育を支援することについてパフォーマンスをした。
- ・大西は環境を保護した生徒に感謝し、他の生徒たちにも環境保護のプロセスに参加するよう奨励した。

・クラブのメンバーより

- 庭からポリエチレンバッグも拾っている
- 家畜がそれらを破壊するのを避けるために木の周りに棒を作った。
- もっと木が必要
- クラブの会員は、毎週金曜日に会い、木の世話をする。
- 成果を祝うパーティーをやりたい。



・SORAK の代表ムハマド氏は、祝賀会の場合、SORAK を招待してほしいこと、我々も何かを寄付すること、音楽システムを提供すること等述べた。

クラブのメンバーからの質問

- ・環境保護クラブのメンバーに T シャツや制服を提供することは可能か？
- ・私たちの活動のために長靴を入手することは可能か？

その他

- ・クラブのメンバーと学校が環境を保護する方法についての文書を現地語で書くことが提案された。
- ・校長より特に道路の脇から木や作物が破壊されるのを防ぐためにフェンスが必要と訴えられた。
- ・校長は訪問者に支援のことに感謝し、より多くの機会がある場合、学校への支援も含めてほしいと述べた。



最後に

- ・クラブのメンバーは、訪問者の大西に感謝としてキャベツが贈呈された。

・校長は GBN の大西に学校への支援に感謝し、彼女に安全な良い旅をするようにと伝えた。



クラブの生徒達が作ったキャベツをいただきました！